

雑穀街道を FAO 世界農業遺産に登録しましょう

賛同の呼びかけ案

雑穀街道普及会

関東山地南部の山梨県東部地域および隣接する神奈川県北部地域は、首都圏にありながらも過疎・高齢化が著しい典型的な農山村地域です。秩父多摩甲斐国立公園の周辺の美しい里山景観の中で、野生生物が豊かに生存している一方で、野生動物による食害は森林から農耕地に及んでもいます。また、耕作放棄地も拡大し、自然環境に適応して形成されてきた伝統的な山間地・里山での栽培植物の在来品種、農耕技術、それらの加工調理技術、さらに農耕儀礼など、伝統文化の継承が消滅・危急の時期を迎えています。特に、フンザと並び称された上野原市桐原地区は、穀菜食による世界的に知られた健康長寿村で、生物多様性に依拠した文化多様性も豊かに蓄積されてきた地域社会でした。しかし、この 50 年ほどで、生物多様性のみか、随伴する文化多様性までが過疎・高齢化の末期的状況により、著しく衰退傾向にあり、継承の危機に瀕しています。したがって、山間地・里山における生物文化多様性保全の手法を継承して、野生生物と人間が共存、共生可能な生活技能を再創造することは、自然共生社会を構築するために最重要課題です。植物と人々の博物館を旧西原小学校に移転し、雑穀街道普及の学習拠点として整備して街道筋の関係者や団体を結ぶように提案します。

地球環境変動、多くの自然災害や病虫害の拡大など、現代文明は危機的状態にあります。人間社会を安定的に維持するためには、とりわけ食料安全保障が基盤であり、地域に適した在来作物の衰退を防ぎ、それら品種の保全・継承・普及に努める必要があります。

このような課題解決に向け自然共生社会を再構築するために、農山村地域の自然共生的な生活文化の基層（縄文文化の系譜、畑作伝統の温故）にある、栽培植物、雑穀、いも、野菜などの在来品種を保存継承するためのローカル・シード・バンクを地域で共有する体制を進めてきました。さらに、自然共生してきた農山村社会で、栽培植物在来品種の栽培生産を維持、加工調理し、伝統食を活かしながら、新たな食品を開発して、地域経済を展開するように、生物文化多様性保全を確保する一般的手法を探求してきています（移行への知新、トランジション）。これまで 50 年余りの地道な成果の蓄積を発展させ、NPO 法人、農業生産法人、自治体などが連携する雑穀街道普及会を登録申請団体として、FAO 世界農業遺産「雑穀街道～農山村における生物文化多様性保全」をめざします。

雑穀街道普及会 会則

1. 名称：本会は雑穀街道普及会と称する。
2. 目的：関東山地南部地域農山村の小規模家族農耕によって伝承保全されてきた雑穀他の生物文化多様性、山地農耕システムおよび里山景観を保全、継承するための普及啓発活動を行い、国際雑穀年 2023 に協賛し、あわせて FAO 世界農業遺産に登録申請を行うことを目的とする。
3. 会員：賛同する個人会員および団体会員で構成する。会費・寄附は規定せず、任意とす

る。

4. 事務所は当座、雑穀街道普及会（山梨県小菅村、自然文化誌研究会／植物と人々の博物館）に置く。

5. 雑穀街道普及会の活動：

1) 雑穀ほかの栽培植物在来品種の保存、普及、および生物文化多様性を中心とする伝統的知識体系、小規模家族農耕技術を学習、啓発する。

2) 生物文化多様性、生業の学習・保全を目的として、植物と人々の博物、郷土館のネットワークを創り、ローカル・シード・バンクや加工調整・商品開発などの拠点を設置する。

3) 関東山地南部地域の農山村において、都県境を越えて広域連携による秩父多摩甲斐国立公園周辺農山村の地域振興を図る。

4) これらをもって 2024 年春に向け FAO 世界農業遺産に登録申請のための諸準備をする。

付則

本会則は、仮のものであり、今後、総会において協議し、公式な会則を決定するものとする。

連絡先：・・・・・・・・・・

雑穀街道普及会事務担当幹事連絡先＜事務担当幹事＞ 木俣美樹男

e-メール：kibi20kijin@yahoo.co.jp

事務所：非営利活動法人 自然文化誌研究会／植物と人々の博物館

〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村 3337-2

e-メール：npo-inch@wine.plala.or.jp

ホームページ：エコミュージアム日本村（トランジション小菅）

雑穀街道 <http://www.milletimplic.net/milletsworld/millstr.html>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

2023 年 6 月 2 日現在

雑穀街道普及会幹事：ABC 順

木俣美樹男、宮本透、長田英富、小俣億学、佐野守平、玉木陸斗、富澤太郎

学術アドバイザー：

安孫子昭二（立川市史編集委員・文学博士／縄文考古学）

藤村達人（相模原市農業委員／筑波大学名誉教授・理学博士／作物育種学・植物分子遺伝学）

木俣美樹男（東京学芸大学名誉教授・農学博士／民族植物学・環境学習原論）

大澤由実（青山学院大学助教・Ph.D.／民族植物学）

竹井恵美子（大阪学院大学教授・農学博士／民族植物学）

メディア・アドバイザー：

稲本正（オークビレッジ）

梶間陽一（ワノサト・プロジェクト、NPO 法人トランジション・ジャパン副代表理事）

谷崎テトラ（京都芸術大学客員教授、構成作家・プロデューサー）

会員： 22 名

安孫子昭二 (東京都日野市)
土井利彦 (愛媛県大洲市、地域振興)
伊能まゆ (ヴェトナム、ホーチミン市、Seed for Table)
井上典昭 (山梨県大月市)
川上香 (岐阜県白川村、農家、総合研究大学院大学大学院生)
木俣美樹男 (東京都小金井市)
御園美保子 (埼玉県所沢市、造園・まりっか農園たんぼ部)
宮本幹江 (愛媛県大洲市、地域振興・時遊編集舎)
宮本透 (神奈川県相模原市、農家)
中川智 (山梨県上野原市、農家)
西村俊 (石川県、北陸先端科学技術大学院大学准教授)
岡部良雄 (山梨県丹波山村、農家)
小俣億学 (山梨県上野原市、農家)
大野康雄 (岩手県、雑穀生産研究)
大澤由実 (神奈川県相模原市、青山学院大学)
大谷ゆみこ (東京都、未来食つぶつぶ創始者、フウ未来生活研究所代表)
長田英富 (山梨県上野原市、NPO 法人さいはら理事長、びりゅう館長)
佐野守平 (埼玉県横瀬町、秩父まるごと博物館、雑穀自由学校)
竹井恵美子 (大阪府、大阪学院大学)
玉木陸斗 (沖縄県、東京農業大学／芽ぐみれっと)
富澤太郎 (山梨県上野原市農業委員、農家)
吉野艶子 (山梨県上野原市地域おこし協力隊、キヌア栽培・商品開発)

賛同団体： 11 団体

NPO 法人自然文化誌研究会／植物と人々の博物館、小菅漁業協同組合、NPO 法人トランジション・ジャパン、家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン (FFPJ)、一般社団法人ジャパンズビーガンつぶつぶ (JVATT)、北都留森林組合、雑穀研究会、藤野・あわ・きび・ひえの会、相模湖里山暮らしの会ちーむゴエモン、NPO 法人パーマカルチャー・センター・ジャパン、NPO 法人さいはら、ほか

後援団体： 1 団体

一般社団法人日本雑穀協会、ほか

協賛企業：

賛同者： 順不同 49 名

亀井雄次 (山梨県小菅村、エコミュージアム日本村(トランジション小菅)／ミューゼス研究会代表幹事)
中込卓男 (東京都、特定非営利法人自然文化誌研究会代表理事)
黒澤友彦 (山梨県小菅村、特定非営利法人自然文化誌研究会事務局長理事)
中田無双 (山梨県上野原市、北都留郡森林組合参事)
小山宮佳江 (神奈川県相模原市、トランジション藤野)

木下稔（山梨県小菅村、水産業）
木下善晴（山梨県小菅村、農家）
中込貴芳（東京都、特定非営利法人自然文化誌研究会副代表理事）
守屋秋子（山梨県小菅村、農家）
石坂真悟（山梨県小菅村、多摩川源流大学）
宮内かおり（東京都）
後藤浩成（東京都リサイクル事業協会）
倉田剛
渡辺隆一（長野県、信州大学）
小林保（兵庫県、ひょうごの在来種保存会）
小柳知代（東京都、東京学芸大学准教授）
長田洋美（山梨県上野原市、NPO 法人さいはら）
橋本寿美子（山梨県上野原市、びりゅう館）
内山歩（山梨県上野原市、NPO 法人さいはら）
武原美智子（山梨県上野原市、びりゅう館）
川口信光（山梨県上野原市、農家）
川口奈緒美（山梨県上野原市、農家）
嶋田俊平（東京都、株式会社さとゆめ）
加藤三郎（認定特定非営利法人環境文明 21 顧問）
藤村コノエ（認定特定非営利法人環境文明 21 代表）
福田恵一（東京都、公立中学校教員）
黒澤東江（山梨県小菅村、管理栄養士）
若林高子（東京都小金井市、環境省環境アドバイザー）
設楽清和（神奈川県相模原市、日本パーマカルチャーセンター）
町田勝一（埼玉県横瀬町役場 振興課）
若林想一郎（埼玉県横瀬町町議会議員）
有賀美子
吉田俊郎（トランジションタウン南阿蘇）
竹田貴大（クボタ）
久保和穂
田原和彦（DNP）
関誠（東京都、公立中学校教師）
木下勉
河野翔一（國學院大学生）
大西崇文（神奈川県横浜市、公立中学校教員）
市丸由歩（東京都、公立小学校教師）
千葉宏太郎（神奈川県、公立高校教員）
西川至（東京都小金井市、元小学校長）

村上伸哉（山梨県小菅村）
長田容子（山梨県上野原市西原）
島津隆（埼玉県立深谷はばたき特別支援学校教諭）
中井美知子（兵庫県、お米の勉強会事務局長）
立柳聡（福島県立医科大学）
鈴木佐江子（川崎市）
鈴木一正（富士山麓有機農家シードバンク）

雑穀街道普及会 入会確認書

雑穀街道普及会の趣旨に賛同し、入会します。

入会日： 2023 年 月 日

会員種別： まるで囲ってください。

1 個人会員、 2 団体会員、 3 賛同者、 4 賛同団体 5 後援団体
6 協賛企業

氏名：

所属団体名：

連絡先：〒

e-メール：

電話&FAX

ご意見など：